

あすなろ通信

茅ヶ崎高校校長だより
No.28 令和元年7月23日

もう一つのゴール ～車いすツインバスケットボール～

2020年7月24日(金)、1年後に東京オリンピックが開催されます。また、2020年8月25日(火)には、東京パラリンピックが開催されます。昭和39年(1964年)に引き続き、今回の東京オリンピックが2度目の開催だということはよく知られていますが、実はパラリンピックも東京では2度目の開催になります。

今度の東京オリンピックでは、バスケットボール、バレーボールなどの他にも、地元江の島ではセーリング競技が行われ、33種類の競技で熱戦が繰り広げられます。また、東京パラリンピックでは、よく知られた車いすバスケットボール、車いすラグビー、車いすテニスの他にも、比較的重い障がいのある方を対象としたパラリンピック特有の競技であるボッチャ(イタリア語でボールを意味する:カーリングに似た競技)など、22種類の競技が行われます。

今回の東京パラリンピックの競技にはなっていないのですが、「シュートしてもゴールまでボールが届かない」「上半身の障がいのでドリブルができない」など、より重い障がいのある方を対象としたバスケットボール競技があります。このような状況でも、一緒にバスケットボールを楽しむことができないかと日本で発案されたのが「車いすツインバスケットボール」なのです。

車いすツインバスケットボールでは、みんなが楽しめるように次のようなルールの工夫を行っています。

①障がいの程度により、ショット区分が3種類

- 上シューター: 上ゴール(通常と同じ高さ3.05mのゴール)にショット
- 円外シューター: 下ゴール(高さ1.2mのゴール)に、ゴール下のコートに描かれた半径1.8mのサークル外からショット
- 円内シューター: 下ゴールにサークル内からショットする



上シューター

円外シューター

円内シューター

一つのコート内に、目標とするゴールが2つあるために「ツイン」バスケットボールと呼ばれることになりました。

②円内シューターのドリブル

膝の上においたボールを両手で抱え上げ、胸の高さまであげることで1回ドリブルをしたことになる



迫力あるダンクショット

このように、少しの工夫によって、多くの仲間が同じ競技を楽しむことができます。一人ひとりに合わせて違うゴールがあってもいいという発想は、これからの共生社会づくりにおいても、とても大切なことだと思います。

みなさんの周りにも、ちょっとした工夫で変えられることはたくさんあると思います。ぜひ、柔軟な発想でこれからの新しい社会を切り開いてほしいと願っています。



茅高ニュース ～茅高よ、世の荒波を分けて進め～

[全日制]

柔道部がボランティアで大活躍

6月23日(日)、「高齢者転倒防止勉強会」に、ボランティアで参加しました。当日は高齢者の前で模範演技を行い、その模様はケーブルテレビで放送されました。また、5～6年前前から湘南マスターズ柔道クラブと連携し、施設入所の小学生を中心に、木曜日と日曜日に茅ヶ崎市総合体育館で柔道の指導も行っています。

(顧問:薄井)

[定時制]

今年もやります「ちていカフェ」

6月28日(金)、昨年度に引き続いて、第2回「ちていカフェ」を行いました。当日は、教室で自己紹介や連想ゲームなどでコミュニケーションスキルを学ぶワークショップを行ってから、売店前でお菓子を食べたり飲み物を飲んだりしながら、NPOの方々や大学生スタッフとの交流を楽しみました。

初めて参加したスタッフの方も多く、最初は生徒からなかなか声をかけづらかった様子でしたが、スタッフの方が上手に誘導してくれて徐々に流れに乗ることができ、後半は盛り上がり楽しむことができました。カフェでは、行列のできる鎌倉のお菓子「クルミっ子」を食べながら、顔見知りになったスタッフの方と生活での出来事や進路のことについて話を聞いてもらいました。(担当:武藤)